

事業概要シート

施策 0305 図書館の充実と整備

《 》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

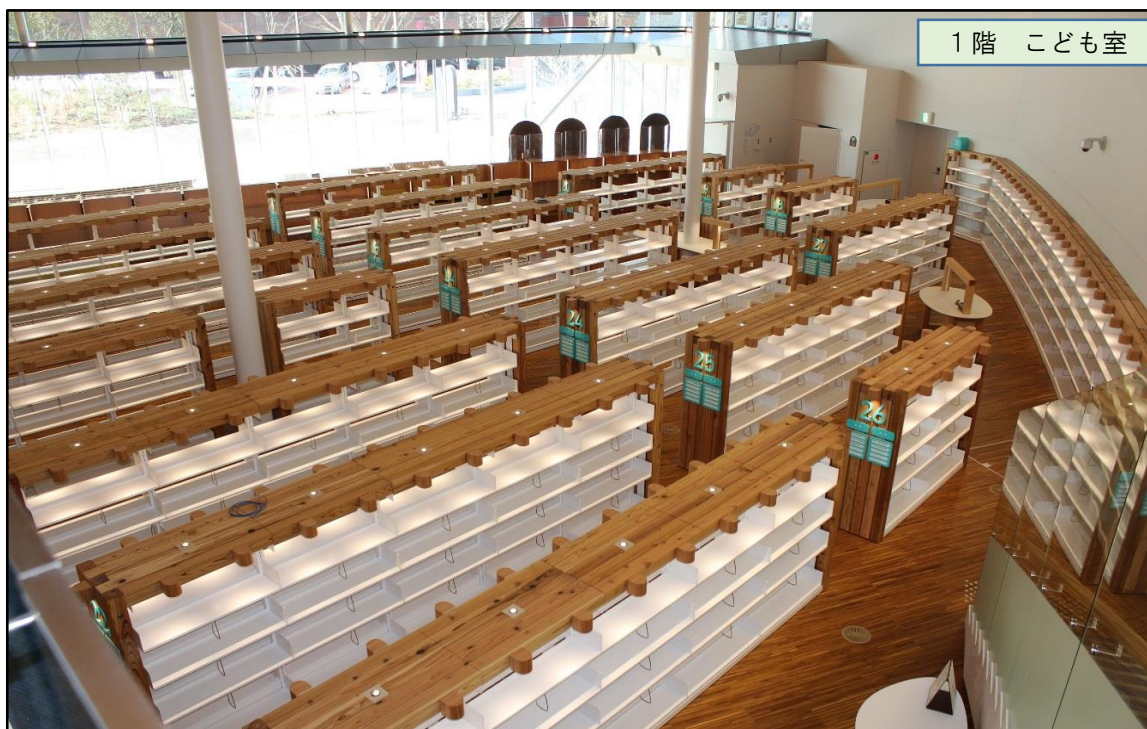
事業名	図書等整備事業	縮小	予算額	8,200 千円	
			《 》	54,459 千円	
事業期間	～		財源内訳	国庫支出金	0 千円
根拠法令要綱等	図書館法、大村市立図書館条例、大村市立図書館条例施行規則			県支出金	0 千円
				地方債	0 千円
				その他	6,000 千円
				一般財源	2,200 千円

【事業の目的・概要・対象】

市民の多様なニーズを把握しながら、図書・雑誌等の購入・整理・保存を行い、閲覧・貸出サービス等に提供する。

平成30年度末 蔵書予定数 約19万冊
 ミライオン図書館 約159,000冊
 公民館・住民センター図書室 約31,000冊

平成31年度末 蔵書予定数 約19万3千5百冊
 ミライオン図書館 約160,500冊
 公民館・住民センター図書室 約33,000冊 ※
 ※ 中地区公民館新築に伴う図書室面積を拡張するため、単年度で蔵書の増加を行うため。



【背景】

平成29年度末までに、市立図書館分約15万冊の蔵書整備は順調に遂行できた。
 ミライオン図書館開館後は、蔵書冊数30万冊の目標に向けて、持続可能な規模での図書購入計画を実施する。
 休館中（H29.10～H31.3）に、古い図書等などの除籍（本を廃棄すること）が完了しているため、今後、数年間は、新規に購入した本の数だけ蔵書が増加していくことになる。

担当課	社会教育課・図書館	課長	鈴木 章子
担当者	白石 勝己	問合せ先	0957-52-2457

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	図書購入冊数	冊	18,414	23,791	27,000	3,500	3,500
②	蔵書冊数	冊	173,151	163,462	190,000	193,500	197,000

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	市民一人当たりの貸出冊数	冊	4.61	3.80	3.43	3.43	7.00
②	市民一人当たりの蔵書冊数	冊	1.8	1.7	1.9	1.9	1.9

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	15,328	46,637	54,459	8,200	8,200	8,200	141,024
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	43,376	46,000	6,000	6,000	6,000	107,376
一般財源	15,328	3,261	8,459	2,200	2,200	2,200	33,648
人件費	10,966	15,258	17,540	3,736	3,736	3,736	54,972
職員(人)	1.40人	1.85人	2.15人	0.50人	0.50人	0.50人	6.90人
時間外勤務(h)	300h	810h	860h	50h	50h	50h	2120h
嘱託員(人)	0.10人	0.10人	0.10人	0.00人	0.00人	0.00人	0.30人
フルコスト	26,294	61,895	71,999	11,936	11,936	11,936	195,996

妥当性 (市の関与)	市立図書館の蔵書数確保であり、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	市民の多様なニーズや学習意欲に応じ、新しい図書・雑誌等を多く購入することは、図書館の充実を図る取組として有効であり、施策の推進に貢献するものである。
効率性 (コスト)	財源として、ふるさとづくり基金繰入金を活用しているが、蔵書冊数を増加させるには一定規模の購入冊数を維持していかなければならない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	担当者意見のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--